

中部地区の社会教育をつなぐ、ひろげる

わくわく中部



中部教育局社会教育担当だより平成28年12月21日発行

中国・四国地区社会教育研究大会香川大会開催！！

11月17日（木）、18日（金）に中国・四国地区社会教育研究大会が高松市で開催されました。「社会のおもてなし 結願をめざして」をスローガンに、初日は記念講演とパネルディスカッション、2日目は4分科会に分かれて研修を深めました。

東伯郡社会教育協議会の派遣事業により参加された北栄町社会教育委員の清水武さんの活動報告レポートを紹介します。

■記念講演

演題「讃岐うどんクロニクル～これが香川の底チカラ」

コラムニスト（四国新聞社シニア編集室） 明石安哲さん

香川県がうどん県になった歴史は古くない。1960年代までの「うどん」は知名度は低かったようで、「うどん」ブームには次の段階がある。

第1次ブーム 1969年 大阪万国博覧会に出展 行列ができるほどの人気

第2次ブーム 1988年 瀬戸大橋開通で人々が四国へ

第3次ブーム 1995年 讃岐うどん選手権の開催

第4次ブーム 2009年 高速道路通行料金の千円時代 → うどんツアー

2011年に「うどん県」に改名、他産業にも気を遣ったのか「うどん県、それだけじゃない、香川県」とした。元々の仕掛け人は金子元知事のものである。

うどんをよく食べるからなのか、エンゲル係数は日本一（22.7%）である。



■パネルディスカッション

研究テーマ「地域のチカラを生かして 住民総活躍の社会をつくる」



印象に残った3人の言葉です。

今井博志さん（西条市教育委員）

教育委員として何ができるか・・・まずは、子どもたちを明るくしようと考えた。PTAで「おやじの会」を作り、輪を広げ、他のおやじや子どもを巻き込む活動をする中で、現場の目で、教育委員として臨むことが第一と悟った。活動していることを皆に知ってもらうことは重要なポイントである。

吉富慎作さん（NPO法人土佐山アカデミー事務局長）

他県から、高知県土佐山に移り住む。社会教育とは、最終的には「先輩が後輩に背中を見せること」だと思う。社会が人を育てる社会学である。その目的のため、土佐山アカデミーの立ち上げに参画する。『よそもの・わかもの・ばかもの』（地域おこしの三原則と聞く）でないといけないこともある。運営者側が楽しめる企画内容であれば、参加者も楽しめる。

中橋恵美子さん（NPO法人わははネット理事長）

母になったことをきっかけに「もっと子育てしやすい社会を作りたい」とNPO法人を立ち上げる。出産後の女性をもっと明るくするために、得意な趣味を皆でするサークルづくりを始めたら、皆が生き生きとした。今後は「結婚→妊娠→出産→子育て」の切れ目のない支援が必要ではないか。子どもたちのために何ができるかを考えている。

■分科会

第2分科会「社会教育委員の活動」

事例発表「地域の活性化に向けた社会教育委員の活動について」

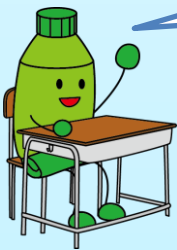
山本珠美さん（丸亀市社会教育委員の会会長、香川大学准教授）

2日目

平成23年に社会教育委員の管轄が教育委員会から市長部局に移管されたのを期に、社会教育の活動のあり方を再編した。会議の回数を年2回から、現在は年10回開催し、「承認」するだけの会議から一人一回以上の発言を求めることとした。委員に多くの意見を言うてもらうために、研修を奨励し、他県の好事例があれば皆で研修に行くことにした。

また、それまで事務局が策定していた計画を委員に作ってもらうよう求めた。会議には教育長の出席を求め、教育委員会への会議には、社会教育委員会長が出席し、教育委員会と社会教育委員との話し合いの場を設けるよう改めた。

社会教育委員の活性化には、委員の自覚、会長の熱意、事務局トップの本気、事務局職員のやる気が重要な要素であり、かみ合わなければならない。



清水さんが事例発表者に質問しました！

Q

「丸亀市では、『社会教育委員が計画を策定する』とある。活動グループの責任者ならメンバーの悩み・問題点・課題点・改善点が見えるが、社会教育委員は現場の状況を把握するのにズレが生じ、無理な計画や卓上の計画にならないか。

A

「委員は全員が活動グループの責任者になっている。新しい活動が始まれば、そのグループの責任者を委員に任命する。」

助言 馬場祐次朗さん（徳島大学教授）

社会教育委員には①計画を立案する②意見を述べる③研究・調査することが求められている。（社会教育法 社会教育委員の職務17条）丸亀市の場合、教育委員会から社会教育委員を分離されたようだが、現在の法律ではできない。法改正が必要である。社会教育委員は、計画づくりが重要であり、また、発信力がなければならない。社会教育委員とは教育の委員であり、人づくり、今を担ってくれる人の育成をする必要がある。

分科会のグループ協議で印象に残った発言

- 我が町には地域おこし協力隊が2名任命され活躍している。
- 民生委員になる前には仕事内容の説明があり、納得して引き受けたが、社会教育委員になる前には説明がなかった。
- 町中で誰が社会教育委員なのかほとんどの住民が知らないのではないかと。また、社会教育委員から情報発信も目にしない。



■所感

今年2月に退職したが、仕事中心の生活だったので、地元のことが何も解らない状態でした。そんな中、社会教育委員に今年4月から選任されました。北栄町の「社会教育」はずいぶん対象範囲が広いので、大いに驚きましたが、新委員として手当たり次第に関係するものを極力見てみよう、参加していこうと覚悟を決めました。大会での事例発表、大学教授の法解説やアプローチ法等参考にすべきことは多かったと思います。一人でも多くの方が参加され、影響を受け、地域活性化が更に加速することを期待します。



清水さん、詳しいレポートをありがとうございました。

研究大会・研修会のお知らせ

来年度!



来年度の中国・四国地区社会教育研究大会は鳥取県で開催されます。清水さんの所感にもありましたが、社会教育を学ぶよい機会です。学びと活動の循環に向けて社会教育の在り方を考えましょう。多くの方の参加をお待ちしています。



第40回 中国・四国地区 社会教育研究大会 鳥取大会

大会スローガン 大山の麓で地域の未来を語ろう
～学びと活動の循環に向けて～

研究主題 地域で活かす社会教育の在り方を考える

期日 平成29年 **10月26日(木)～27日(金)**

会場 【全体会】米子市文化ホール (米子市末広町293)
【分科会】米子コンベンションセンター (米子市末広町294)

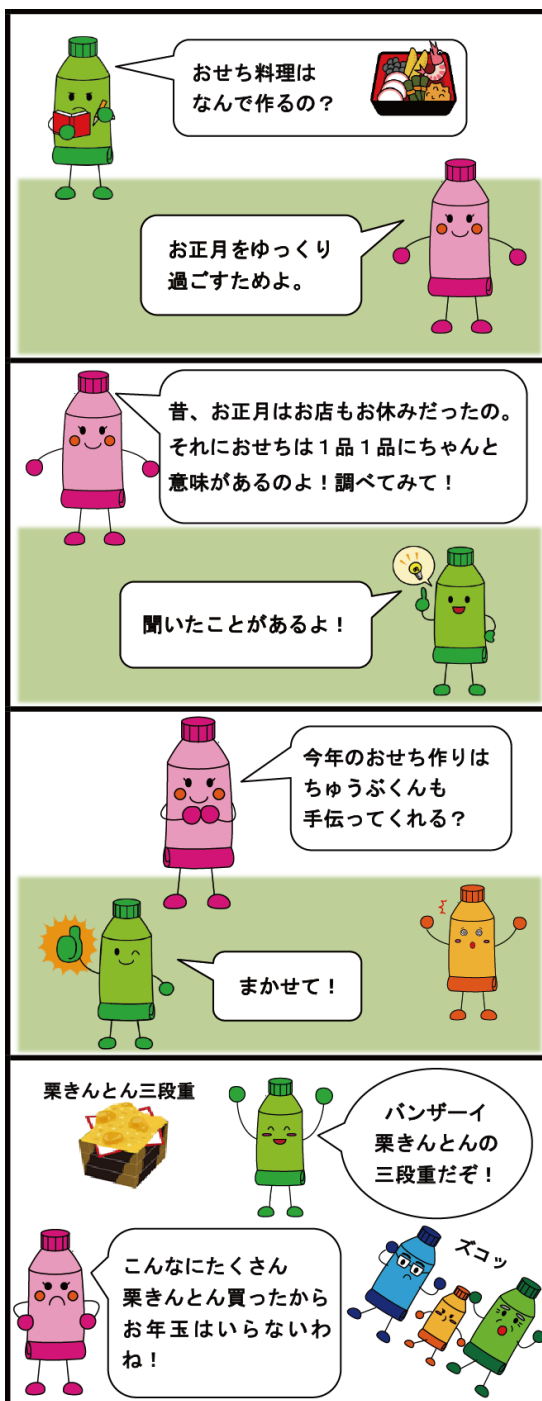
参加者 中国・四国地区各県及び市町村の社会教育委員、公民館職員、社会教育関係者

参加費 3,000円(資料代)

第40回中国・四国地区社会教育研究大会鳥取大会実行委員会事務局
〒680-8570 鳥取県鳥取市東町1丁目271 (鳥取県教育委員会事務局社会教育課内)
TEL 0857-26-7520 FAX 0857-26-8175 E-mail shakaikyoku@pref.tottori.jp

ちゅうぶくん

～おせちづくり～



全県市町村社会教育担当者研修会

- 日 時 平成29年1月13日(金)
13:20～16:50
- 場 所 ヴィレステひえづ
- 対 象 各市町村社会教育担当職員、社会教育委員等
- 内 容
 - 講演「社会教育の出番だ!」
～社会教育委員の心にファイヤーを～
鳥取県教育委員会 福田範史さん
 - 実践発表
 - ・伯耆町社会教育委員の取組について
 - ・南部町社会教育委員の取組について
 - 演習・共有
「社会教育委員の現状と課題」
- 問い合わせ先
中部教育局社会教育担当 西村
電話 0858-23-3253

【あしがき】

12月下旬にしては、最高気温が15℃前後と高めです。思い起こされるのは大雪に見舞われた6年前。確か、その年のこの時期も同じような気温でした。穏やかな年の瀬を迎えたいものです。

中部教育局 社会教育担当 西村信彦
電話 0858-23-3253
FAX 0858-23-5203
E-mail nishimuran@pref.tottori.jp